

平成27年度 筑前町学力向上推進プランの指標・評価基準

筑前町学力向上推進協議会

学力調査等における達成目標						
項目	指標	教科	評価基準			評価
			1	2	3	
学力実態	全国学力・学習状況調査の結果 平成27年4月実施 ※対象：小学校(第6学年) 中学校(第3学年)	国語A	平均正答率が、県・全国をともに下回る。	平均正答率が、県以上または全国以上になる。	平均正答率が、県・全国をともに上回る。	1
		国語B				1
		算数・数学A				1
		算数・数学B				1
		理科				1
	福岡県学力実態調査の結果 平成27年6月実施 ※対象：小学校(第5学年) 中学校(第2学年)	国語基礎	平均正答率が、県を下回る。	平均正答率が、県以上になる。	平均正答率が、県を1ポイント以上上回る。	2
		国語活用				1
		数学基礎				1
		数学活用				1
	学力検査の結果 (小学校) 平成27年12月実施 ※対象：第6学年児童	平均正答率が、全国以上になる。	国語	平均正答率が、全国を下回る。	平均正答率が、全国以上になる。	平均正答率が、全国を1ポイント以上上回る。
社会 算数 理科						
学力テストの結果 (中学校) 平成28年1月実施 ※対象：第3学年生徒	平均正答率が、県以上になる。	国語	平均正答率が、県を下回る。	平均正答率が、県以上になる。	平均正答率が、県を1ポイント以上上回る。	
		社会 数学 理科 英語				
合 計						1.1

学校の組織的な、工夫ある、継続的な取組							
項目	目 標	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		具体的な取組	評価	具体的な取組	評価	具体的な取組	評価
授業づくり	児童生徒の授業評価 (平成27年12月実施)	授業満足度をアップする。	各教科重点単元を設定し、交流活動を取り入れた授業を行う。	2.8	各教科重点単元を設定し、交流活動を取り入れた授業を行う。	2.8	単元、学期、年間を通じた学習評価を行い、課題を見つけ、解決できるような授業を行う。
	校内研修の充実	校内研修で授業力を磨く。	一人1回以上の授業研の実施、及び学期1回の代表授業研の実施。	3	ユニバーサルデザインの授業づくりを視点とした授業研を各学期に1回行う。	3	ユニバーサルデザインの授業づくりを視点とした授業研修を各学期に1回行う。
	学力の実態の分析と共通理解	学力の実態を分析し、全職員で共通理解する。	全国・県の学力実態調査及び年3回の学力テストの分析と共通理解。	3	全国・県の学力実態調査及び年3回の学力テストの分析と共通理解を行う。	3	全国・県の学力実態調査及び年3回の学力テストの分析と共通理解を行う。
学びの基盤づくり	学習規律の確立	全学年共通の学習規律と発達段階に応じた学習規律の徹底を図る。	授業規律の徹底を学力向上プランに位置づけ全職員で取り組む。	2	授業規律の徹底を毎時間、全職員で取り組む。	3	子どもの話す、聞く態度を全職員で徹底する。
	補充学習等の実施	補充学習等を実施し、学力の定着を図る。	放課後学習会及び長期休業中の補充学習の実施。	3	放課後学習会及び長期休業中に補充学習を実施する。	3	毎週月曜日の放課後に補充学習を位置づけ、継続的な指導を行う。
連携づくり	学習サポーターの活用	大学生、PTA、地域住民を活用し、個に応じた指導を行う。	放課後学習会や別室登校生徒への学生・地域ボランティアの活用。	3	放課後学習会や勉強合宿、補充学習等において学生・地域ボランティアを活用する。	3	放課後学習会や勉強合宿、補充学習等において学生・地域ボランティアを活用する。
	家庭との連携	家庭学習を充実する。	自学ノートの内容を賞賛するコンクールを実施する。	2	学期に1回(学年ごと)自学ノート及び授業ノートの内容を賞賛するためのコンクールを実施する。	2	週に1回、帰りの会のときに家庭学習の確認テストを行う。
合 計							

4 計画以上に実施できた 3 十分に実施できた 2 十分には実施できなかった 1 実施できなかった